

“大地の恵と海の幸”でおもてなし なかどまり ^{べい}イガ米〜きてけフェア開催

県観光物産館アスパム(青森市)で2月3日(土)と4日(日)の2日間、「なかどまりイガ米〜きてけフェア」が「冬のごちそうマルシェ」と同日開催され、町外の方などに中泊のPRを行いました。

今年は、なかどまりミニどんぶりフェアが開催され、〈まぐろ丼〉や〈メバル漬丼〉、メバル膳で人気のメバルの煮付けをご飯にのせた〈なかどまりメバ煮丼〉などが売られました。多数の方にお買い求めいただき、追加分も合わせて両日ともに完売しました。また、昨年同様金多豆蔵人形芝居も2日目に午前1回・午後1回の2回行われ、年代・国籍問わず多くの方にご覧いただきました。普段金多豆蔵をテレビでしか見たことが無い方や初めて見る方にも楽しんでいただけました。外のブースでは、今年も2日間、イカリん釣りゲームや野菜輪投げが行われ、参加者たちは楽しみながら中泊産の新鮮な旬の野菜やヤリイカをゲットしていました。体験型イベントによる効果的なPRが功を奏し、大盛況の内にイベントは幕を閉じました。

両日開催



「イカリん釣りゲーム」
ヤリイカ10杯がもらえる
ゴールドイカリんを釣り上げる



どんぶりフェアでは販売開始早々、売り切れた商品も



昨年より多くの町内店舗が参加し、
どこの店舗も盛況でした



「野菜輪投げ」
狙いを定めて
新鮮な野菜をゲット!



1日目のみの開催



オープニングセレモニーに参加していただいた方にのしかおにぎりをプレゼントしました



今年も開催なかもりファンお楽しみ抽選会！メバルや特産物の詰め合わせなどが当たるかもしれないハズレなしの抽選会



宮越家をモチーフにしたお菓子「詩夢庵」が先着100名様に振る舞われました



2日目のみの開催



金多と豆蔵の掛け合いに笑い声が絶えず聞こえました



全編津軽弁の人形劇に興味津々の様子でした



2日目は「金多豆大福」が先着100名様に振る舞われました